



地域資源の付加価値形成プロセス

自然環境を利用することで多様な価値が生み出されている。この利用価値は、原料としての直接消費や眺望対象としての非消費的利用のように様々な場で生ずるが、そこにはモノと利用者の一度きりの関係しか存在していない。このため、自然資源は保全するか利用するかという二者択一の状況に陥りがちである。

一方で、私たちは自然をイメージ化して工芸作品に用いることや、芸術作品の一部として利用することも行っている。こうした利用では、資源が一度で消費されることはなく、繰り返し価値が生成され、消費形態も洗練されていく。この場合には、従来の自然と利用者の単純な関係にはない、自然環境のより効率的、効果的な利用可能性が包摂されており、限られた自然環境を高度に利用し、持続可能な範囲でより多くのサービスや価値を生み出すプロセスが採用されている。

本研究会では、自然環境から生まれる観光やレクリエーションなどの恩恵である「文化的サービス」に着目し、地域関係者の持つ知識やスキルを効果的に使う資源化手法や自然環境から文化的サービスを連続して生成する手法についての議論を行う。

初回のテーマは、「地域資源の付加価値形成プロセス」。ゲストスピーカーに、奥敬一氏、森崎美穂子氏を迎え、景観の高度利用の先進事例と和菓子の伝統と創造を題材に、持続可能な資源利用を議論する。

■ゲストスピーカー

奥 敬一 (富山大学芸術文化学部 准教授)
森崎 美穂子 (大阪市立大学大学院創造都市研究科客員研究員)

■パネリスト

森重 昌之 (阪南大学国際観光学部 准教授)
菊地 直樹 (金沢大学地域政策研究センター 准教授)
内田奈芳美 (埼玉大学人文社会科学研究科 准教授)
愛甲 哲也 (北海道大学農学研究院 准教授)
湯本 貴和 (京都大学霊長類研究所 教授)
新 広昭 (金沢星稜大学経済学部 教授)
須賀 丈 (長野県環境保全研究所自然環境部自然資源班長 主任研究員)

■コーディネーター

敷田麻実 (北陸先端科学技術大学院大学知識マネジメント領域 教授)
坂村圭 (北陸先端科学技術大学院大学知識マネジメント領域 助教)

2018.6.29(金) 13:30-17:30 定員20名(無料・要予約)

会場：JAIST(北陸先端科学技術大学院大学) 知識1棟7階 敷田研究室ゼミスペース

【お申し込み】：参加をご希望の方は、sakamura@jaist.ac.jp (担当：坂村)に「お名前、ご所属、ご連絡先」の連絡をお願いします。(定員になり次第、締め切りとします。)

■ゲスト： 奥敬一 富山大学芸術文化学部 准教授

（独）森林総合研究所関西支所を経て2014年より現職。専門は造園学、風景計画学、里山の保全と活用。約四半世紀ぶりに北陸に戻り、文化的な景観の奥深さに気付かされる。その風景価値の源泉はどこにあり、どのように伝え活用すべきなのかを考えたい。

■ゲスト： 森崎美穂子 大阪市立大学大学院創造都市研究科客員研究員

大阪市立大学大学院創造都市研究科博士後期課程修了。博士（創造都市）。伝統的な食文化、和菓子の地域資源としての活用を研究テーマとしている。また食文化と地域農業の連携を通じた観光振興について日仏比較研究も行う。『和菓子 伝統と創造』（水曜社）。

■パネリスト：森重昌之 阪南大学国際観光学部 准教授

大阪府豊中市出身。北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程修了、博士（観光学）。2011年阪南大学国際観光学部専任講師着任、2018年から現職。著書『観光による地域社会の再生』（現代図書、平成27年度観光学会教育・啓蒙著作賞受賞）ほか。

■パネリスト：菊地直樹 金沢大学地域政策研究センター 准教授

金沢大学人間社会研究域附属地域政策研究センター准教授。兵庫県立大学/兵庫県立コウノトリの郷公園、総合地球環境学研究所を経て現職。主な著書は『「ほっとけない」からの自然再生学』京都大学学術出版会、『蘇るコウノトリ』東京大学出版会。

■パネリスト：内田奈芳美 埼玉大学人文社会科学研究科 准教授

福井市出身。ワシントン大学修士課程修了、早稲田大学理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。専門:都市計画・まちづくり。金沢工業大学環境・建築学部講師などを経て、現職。共著『まちづくり図解』（鹿島出版会）、『金沢らしさとは何か』（北國新聞社）など。

■パネリスト：愛甲哲也 北海道大学農学研究院 准教授

北海道大学大学院農学研究院 准教授。専門は造園学、特に公園緑地の計画・管理。自然保護地域における利用のモニタリングと管理、市民との協働による自然公園、都市公園の管理のあり方について、知床、大雪山、阿寒摩周、富士山、都市公園をフィールドに研究。

■パネリスト：湯本貴和 京都大学霊長類研究所 教授

京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了（理学博士）。専門分野は生態学。神戸大学理学部講師、京都大学生態学研究センター助教授、総合地球環境学研究所教授を経て、2012年に京都大学霊長類研究所に異動。人間を含む霊長類のすみかと食べ物の研究を行う。

■パネリスト：新広昭 金沢星稜大学経済学部 教授

石川県庁で24年間、気候変動対策、里山里海保全などの環境行政に従事。その間、環境総合条例である「ふるさと石川の環境を守り育てる条例（全272条）」の策定を担当。2016年より現所属。研究分野は地域環境経済、環境政策。博士（社会環境科学）。

■パネリスト：須賀丈 長野県環境保全研究所自然環境部自然資源班長 主任研究員

長野県環境保全研究所主任研究員。京都大学博士（農学）。専門は昆虫生態学、保全生物学、歴史生態学。共著『草地と日本人 日本列島草原1万年の旅』（築地書館）。生物文化多様性を活用した持続可能なツーリズムのあり方を模索する。

■コーディネーター：敷田麻実 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域

石川県水産課勤務の後、金沢工業大学環境システム工学科教授、北海道大学観光学高等研究センター教授を経て、2016年から北陸先端科学技術大学院大学知識マネジメント領域教授。専門はエコツーリズムと地域マネジメント。

■コーディネーター：坂村圭 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域

2017年から北陸先端科学技術大学院大学知識マネジメント領域助教。専門は都市計画とコミュニティデザイン。自然資源と社会のつながりをもとに地域活性化に向けた研究とまちづくり活動を実践している。

【タイムテーブル】

13:00- 開場

13:30-13:40 趣旨説明（敷田麻実）

13:40-15:10 「風景でメシを食っていくには —景観資源による付加価値形成の諸相」（奥敬一）

15:10-15:30 ～ 休憩 ～

15:30-17:00 「和菓子に見る日本の自然環境と文化の融合」（森崎美穂子）

17:00-17:30 全体討論

※6月30日は下記の場所で行います

